

常磐会報

第45号

平成25年11月29日

発行所

福岡県行橋市南大橋4-5-1
京都高等学校常磐会

印刷・デザイン
(株)サラト



京都高等女学校校旗

京都高等学校校旗

目次

ごあいさつ	2
平成25年度常磐会総会を終えて	3
進路概況	4
部活動活動状況	4
定時制近況報告	4
恩師からのおたより	5
卒業生からのおたより	6
芳名録	7
伝統を未来へ	8
振り込め詐欺の注意	8





ごあいさつ

常磐会会長
若山直樹
(高校22回生)

常磐会会員の皆様にはますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、今年も常磐会総会の季節となりました。本年度の当番回生は全日33回生、46回生、58回生、定時20回生の皆様です。

昨年度総会終了直後より、この一年間のご労苦は大変なものであったとお察し申し上げます。まずは、宗裕実行委員長はじめ、本年度実行委員の皆様へ感謝申し上げますと思います。ありがとうございます。

また、まだまだ不透明なこの経済情勢の中、総会誌、広告協賛に快くご協力いただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様のご厚意は本年度総会の運営はじめ、常磐会よりの現役生への援助にと、大切に使用させていただきます。誠にありがとうございます。

母校京都高校は、皆様ご存知の通り、いよいよ3年後、平成

28年度には学校創立100周年という、輝かしい節目を迎えます。

先人達より営々と築かれ、今に繋がるこの100年の『歴史と伝統』の重みを考えるとき、まさに心震える思いが致します。

常磐会会員総数も100周年、平成28年度には、3万人の大会を超えるものとなります。

母校京都高校は、日々、躍進を続けています。常磐会会員の皆様には母校の発展に今後ますますのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年度常磐会総会の大盛会を祈念しつつご挨拶と致します。



ごあいさつ

学校長 中村 潤

昨年四月に京都高校に着任して、二年目を迎えました。前年度を振り返りますと、九十六年という、長く輝かしい歴史と伝統に支えられながらも、決してたゆむことなく、文武両道の魂を胸に、教師と生徒が一丸となって、努力、精進している姿が、心に焼きついております。

伝統とは、一朝一夕に築かれるものでなく、日々の小さな積み重ねの集大成であることは、間違いありません。その意味からも、毎日の授業や部活動の練習に、生徒諸君が主体的に、積極的に取り組めるような教育環境づくりに、努めることが、私の使命であると自覚しております。

もちろん、それは、微力な私一人で、実現することは不可能です。全職員のモチベーションを高揚し、そのベクトルを同一化しながら、生徒諸君の京都高校生としての、誇りと自覚を促し、保護者の皆様

や地域住民の方々と連携していくことも大切です。

中でも特に、京都高校同窓会との絆が、私の使命を達成するため、きわめて大きな力となると思います。京都高校で身につけられた人間力を発揮され、実社会で活躍しておられる会員の皆様からの、熱いエールこそが、京都高校躍進のための、原動力であります。

毎年三月に、卒業していく後輩にとりまして、会員の皆様の生き様こそが、これから彼らが人生の荒波を乗り越えていくための、灯台の一条の光となっていることと、確信しております。

末筆ながら、会員の皆様から、物心両面にわたり、ご支援を賜っておりますことに對しまして、心から御礼を申し上げますとともに、常磐会のみならず、ご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

平成25年度 常磐会総会を終えて

平成25年度常磐会総会実行委員長 宗 裕

本年度の常磐会総会と記念イベントを、9月8日の日曜日に京都ホテルおよび行橋市民会館におきまして、無事に開催することができました。いずれも盛会のうちに終えることができました。これも常磐会会員の皆様、学校関係者の皆様、ご支援頂いた地域の皆様のお陰だと、実行委員会を代表し、心からの御礼を申し上げます。

満場の市民会館での三遊亭円楽師匠独演会は大変好評を頂きました。総会後の懇親会にも大勢の同窓生の方にお集まり頂きました。

実行委員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

この1年間、本年度当番の33回生、定時20回生、46回生、58回生のメンバーが一丸となって、年代の枠を越えて活動できたことで、新しい友情の輪も得ることができました。これも私たちの新しい財産になったと感じております。

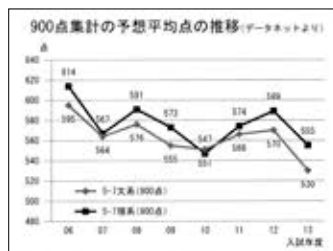
最後にこの有意義な伝統が次年度以降にも引き継がれていくことを祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



進路概況

進路指導主事 仲江 聖吾

平成24年度



昨年度の大学入試センター試験は、900点集計で一昨年度より理系で34点ダウンし555点、文系では40点ダウンし530点と大幅に難化しました。特に文系ではセンターテストが始まって以来の低い平均点となりました。国語で16・9点、数ⅠAで18・8点の平均点ダウンがその主な原因です。この難化によって受験生は弱気な出願になり、中下位層にとつては厳しい受験となりました。

昨年度の入試では、理系の受験者が年々増加しています。これは受験の世界では「理高文低」と呼ばれています。不景気により就職が厳しいため、資格が取得できる学部や職業に直結する学部への進学希望が増えています。そのような学部が理系に多いことが原因です。

本年度の入試は、昨年度とは大きく変わることはありませんが、現2年生は教育課程が変わりますので、再来年は入試に大幅な変更があります。これは、今年度入試にも少なからず影響があるものと思われま

最後にになりましたが、常磐会におかれましては、本校教育にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。常磐会のますますのご発展を祈念いたします。

上級学校合格状況・就職状況

Table showing enrollment and graduation statistics for 2013. Columns include: 平成24年度 (2013), 現役 (Current), 既卒 (Former), 合計 (Total). Rows include: 国立大学 (National), 公立大学 (Public), 私立大学 (Private), 準大学 (準), 国立短大 (National Short-term), 私立短大 (Private Short-term), 準短期大学 (準 Short-term), 各種学校 (Various Schools), 事務 (Office), 営業 (Sales), 技能 (Skills), 公務員 (Public Servants), 合計 (Total).

平成24年度 国公立大学合格者数 (既卒含む)

Table showing the number of students who passed national and public universities in 2013. Columns include: 大学 (University), 学部 (Faculty), 人数 (Number of Students). Rows list various universities and faculties such as 北海道 (Hokkaido), 横浜国立 (Yokohama National), 京都 (Kyoto), etc.

平成24年度 主な私立大学合格者

Table showing the number of students who passed private universities in 2013. Columns include: 私立大学名 (Private University Name), 人数 (Number of Students). Rows list: 東海大学 (Toai), 日本大学 (Nippon), 明治大学 (Meiji), etc.

主な戦績 *平成24年4月～25年1月までの期間での県大会以上

《体育部》

野球部

- 第25回NHK旗福岡県選抜高校野球大会
1 回戦 京都 3-2 久留米
2 回戦 京都 3-7 筑陽学園

テニス部 (男子)

- 福岡県高等学校テニス大会 県大会出場

陸上部

- 平成24年度福岡県高等学校総合体育大会福岡県高等学校陸上競技大会
男子走幅跳 (1名) 第5位 北九州大会出場
男子走高跳 (1名) 第6位 北九州大会出場
○第59回福岡県高等学校陸上競技対校選手権大会兼国体選考会
男子B砲丸投 第5位 男子B走高跳 第5位
男子B円盤投 第2位 男子B800m 第7位

卓球部

- 第67回国体卓球競技少年の部 女子シングルス県大会出場権獲得
○全日本卓球選手権大会 (ジュニアの部)
男子シングルス県大会出場権獲得
女子シングルス県大会出場権獲得
○福岡県高等学校新人卓球大会
男子シングルス県大会出場権獲得
女子シングルス県大会出場権獲得

(空手部)

- 平成24年度福岡県高等学校空手道新人選手権大会
女子個人 形、組手 出場

《文化部》

美術部

- 平成24年度高文連美術工芸展 福岡県大会 油絵 特選

囲碁・将棋部

- 平成24年度全国高等学校総合文化祭 将棋部門福岡県予選
女子個人戦 2位 全国大会へ
男子団体戦 2位
○平成24年度全国高文連将棋新人大会 福岡県予選
女子個人戦3位 全国大会へ

部活動活動状況

Table showing the number of students participating in various school activities. Columns include: 体育部 (Sports), 男子 (Male), 女子 (Female). Rows list: 1 バレーボール部, 2 バスケットボール部, 3 野球部, etc.

Table showing the number of students participating in various school activities. Columns include: 文化部 (Cultural), 男子 (Male), 女子 (Female). Rows list: 1 演劇部, 2 華道部, 3 琴曲部, etc.

文化関係では、四月に行われた北九州芸術祭(書道部門)において、二名が特選、三名が入選となりました。行橋市人権週間啓発作品(書道の部)において、三名が入選となりました。また、県高等学校芸術・文化連盟(書道部門)で三名が優秀賞でした。日頃の練習の成果です。

本年度は、新入生十九名を迎え、全校九十一名の生徒数でスタートしました。生徒たちは、仕事に勉学に全力で励んでいます。

まず、平成二十四年度の生徒の進路状況をご紹介します。二十四年度は、四年修了生が十五、三年修了生が四名、計十九名の生徒が卒業しました。卒業生のほとんどは、在学中からの仕事を継続していますが、学校を通じての新規就職者が一名、進学者が三名でした。

定時制 近況報告



恩師からの
おたより 1



立派になられたことでしょう

58回生 3年4組担任

吉山守之先生



いいのになあ。」と思ったりもしました。でも、みなさんは、しっかりと高校生活を送り、それぞれ次のステップへと進んで行かれました。

今春、京都高校61回生のクラス会に副担任をしていた縁で呼んでいただき、楽しい時を過ごすことができました。既に看護師として仕事をしている人、大学を卒業し、働きたそうとしている人、大学や大学院で勉強を続ける人。4年前の高校生の面影はあるものの、みんな22才の立派な若者に成長しており、一緒に参加した先生と電車の中で京都高校の卒業生の素晴らしさを語り合いながら帰りました。

この文を書く機会を与えてくださった今年の当番幹事58回生のみなさんは、今から9年前、2年生の担任として出会い、卒業まで担任をさせていただきました。みなさんを担任したときは、丁度私の息子も高校生だったので、学校でも高校生のことが気になり、家でも高校生にイライラし、という毎日でした。もともと、息子も「学校にも家にも教師がいる。」とぼやいていました。

58回生のみなさんはその3つ上ですから、さらに立派になられていることでしょう。そうでした。58回生のH君が、今の私の職場（門司大翔館高校）にいました。国語の指導をし、2年生の担任として活躍しています。立派な高校教師になつていたので、日頃は自分が担任をしていた学年の生徒だったというのを忘れてしまっています。どの58回生のみなさんもそれぞれの場所で、H君のように活躍されたり、これから活躍を期して力を蓄えられていくのとだと思えます。立派な若者になられたみなさんに一度お会いしたいものだと、しよぼくれていく一方の元担任は思っています。

常磐会総会のご盛会をお祈りいたします。

恩師からの
おたより 2



創立百周年に向けて

58回生 保健体育科担当

松川幸憲先生（高校28回生）

平成25年度「常磐会総会」が盛大に開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。

私は現在、母校の保健体育教員として10年目を迎えています。体育大会での京都体操は今も継承され、数年前の生徒がこの体操の動きをイラストでわかりやすく書き、毎年の新入生に脈々と受け継がれています。私が京都高校に入学して野球部の門を叩いたのは、昭和48年4月でした。野球部長は高倉先生、監督は有山さんでした。現在、私は野球部の指導をさせて頂いています。有山さんには現在もグラウンドに足を運んで頂き、指導・助言を頂いています。後輩の塩次君は仕事の傍らコーチとして毎日熱心に指導に来てくれています。

3年時の担任は英語の重松正敏先生でした。私達が卒業と同時に退職され、今でもご健在で、毎年連絡を頂き、感謝しています。

野球の大会では、当時の和田英樹先生率いる応援団に球場で熱烈的な応援を頂きました。そのおかげで今でも京都の応援歌が脳裏に焼きついています。2年前に教員免許更新講習を大学で受けた時に、和田先生の講座を受けることになり、大変なつかしく、高校時を思いおこしました。有難うございました。今夏、急逝の報をお聞きして、大変残念に思っています。あらためてご冥福をお祈り致します。

私も教員生活があと数年になりまして、母校の更なる発展と生徒諸君のため

に力を尽くし、いつの時代であっても、社会人として通用する「人間力」を高校3年間で身につける指導を続けていきたいと考えています。私は「定年までノックバットを握る」ことが現在の目標です。いよいよ3年後の平成28年には、京都高校創立百周年を迎えます。この一大行事に向けてすでに校内では実行委員会を組織し、創立記念行事の盛会に向けて動き出しています。卒業生の皆さんにも、このイベントに向けて是非ご理解を頂き、ご協力をお願い致します。

卒業生の皆さん、いつでも気軽に母校を訪れて下さい。百周年で皆さんに会えることを楽しみにしています。



平成16年度 2年1組（担任：中山先生（左）、副担任：松川先生（右））

卒業生からの
おたより 1

夢が人生をつくる

高校58回生 3組 橘 剛史

南半球最大の都市、シドニー。僕は今、ここにいる。英語力をつけるために、一ヶ月前にやって来た。現在、語学学校で毎日の英語の勉強に励んでいる。

日本では、普段の仕事としてプロモーションビデオやミュージックビデオ、結婚式の映像などを制作し、その傍、自主制作ながらも映画をつくっていた。そう今僕は、駆け出しの映画監督である。そして僕の夢は「米国アカデミー賞を獲得」ということ。それは遙か彼方の、手が届きそうにない夢。

僕が京都生だったころ、周りと同じように大学に進学するつもりだった。周りもそうだし、それが当たり前だと思っていた。でもふとあるとき、本当に自分のやりたいことを真剣に考えてみた。僕の答えは「映画」だった。

「映画」なんて普通の人が進む道ではなかったが、自分の中では「映画」以外やりたいことが見つからなかった。様々な逆境があったが、高校卒業後、東京の映画学校に入学した。在学中から自主制作で短編映画を作り続け、いくつかの映画祭に入選したりもした。卒業後は地元に戻って、フリーランスで映像の仕事をしながら作品づくりを続けた。だけど僕はまだ商業映画の映画監督になっていない。正直、厳しい道である。だけど、次第に海外の映画祭にも行くようになってきた。しかし、そこで英語力のなさを痛感した。

自分のこれからの活動には英語が必ず

必要になる。英語力がないと、たくさんチャンスを失うことになる。そう感じた僕は日本を飛び出した。なにも英語が好きとか、外国が好きとかそういうのではない。むしろ僕は行きたくない気持ちの方が強かった。何を好き好んでそんな言葉も通じない場所に住まなければならぬのかと。人間は今までとは違う環境、つまりは危険な場所に行かないように本能が働くように、なかなか決断ができなかった。正直、行くのが怖かった。

でも僕は今、シドニーでこの原稿を書いている。いろんな国の友人ができて、英語も少しずつ上達している。僕は気がついてた。夢が、僕を異国の地へ連れて来てくれた。そして素晴らしい経験をさせてくれた。その夢なしでは、きっとまだ日本に居たままだったと思う。

ぜひ現在の京都生みんなにも、夢を持ってもらいたい。夢が見つからない？そんな人は、ぜひいろんなことを経験してください。いつかきっと、夢へのきっかけが見つかるはず。

最後になるが、地元で制作した僕の新作短編映画が、米国アカデミー認定映画祭、ショートショートフィルムフェスティバルに入選した。そこでグランプリを獲れば、アカデミー賞も夢ではないほど大きな短編映画祭である。僕はこの映画祭に出席するため、6月に日本へ一時帰国する。

夢が僕の背中を押してくれ、ここまで来れた。僕は思う。人生に夢があるのではない、夢が人生をつくるのだと。

卒業生からの
おたより 2

愛しい思い出たち

高校58回生 6組 廣田京子

高校時代というのは私にとつて漠然と、「楽しくて充実した甘酸っぱい思い出」という感じですが、振り返れば、熱心な先生方や素晴らしい友人たちのおかげで、実はすごく成長させられました。日々の友人との付き合いの中で、部活動に必死に励んだ中で、クラスメイトと一致団結した中で、色んな話をしてくださった先生方とかかわり合いの中で、基本的な礼儀や忍耐力、素直に聴き学ぶ習慣、コミュニケーション能力が身に付いたと思います。このように自分の考えを文章化することの大切さ、有益さも、京都高校時代に教わったことです。

また、ある学年講習会で聞いた言葉もとても印象に残っています。「人間はその気になれば何歳になってもやり直せる」、そんな言葉だっと思えます。アメリカの大学に進学することを周囲に大反対されたときには、この言葉が大きな心の支えになりました。経験豊富な「大人」の皆さんの批判に不安になることもありました。この言葉を思い出し、「いつでも、どこでも、何をすることも自分次第！」と、前向きに頑張ることが出来たのです。その後も、この言葉はすっかり私の中の重要な価値観として、今でもずっと心の中に居座って、大きな決断をするときや壁にぶち当たったときに、いつも私を励ましています。

今では、アメリカと中国での生活を終えて日本に帰国し、国際物流の仕事をしています。日々、国内外の本当に多くの

人と関わる仕事で、まだまだ学ぶことも多く、大変なこともあります。それでも興味深い仕事です。それにしても、台湾人の上司に中国人の同僚、インドネシア人の旦那と、大変国際的な環境にいる中で、日本語の質問をされることも多い毎日、もっと真面目に国語の授業を受けておくべきだった...と言っては、元担任の先生に叱られそうですね。ああ、愛しい皆さん、先生方、本当に素晴らしい高校生活をありがとうございました！



ときはの心と伝統を未来へ

伝統を未来へ



2016年（平成28年）京都高校は創立100年を迎えます。大正6年京都郡立京都高等女学校として創立。学制変更により昭和22年福岡県立京都高等学校として新生。現在に至るまで地域の多くの方々に支えられてきました。常磐会はこれからも地域のみなさま、恩師の方々に感謝しさらなる100年を目指し、ときはの心と伝統を未来へ繋ぎます。

振り込め詐欺の注意



ここ数年来、振り込め詐欺被害の報告が同窓会へ寄せられています。同窓会事務局より、個別に電話で振込をお願いしたり、お知り合いの同窓生の住所等をお聞きすることはありません。不審な電話には十分ご注意ください。また、電話以外の手口も近年大変巧妙になり、はがき等でも同窓会を装うケースが報告されています。くれぐれもご注意ください。